

ているのか

過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)



山室 信一氏
東京大学文学部教授。法政庁憲法史が専門で、著書に「憲法と歴史」など。



三谷 博氏
東大教授。「国境を越える歴史認識 日中対話の試み」を日中で同時出版。



鄭在貞氏
ソウル市立大教授。日韓の歴史共同研究や民間交流の中心的存在。



山室 信一氏
東京大学文学部教授。法政庁憲法史が専門で、著書に「憲法と歴史」など。

第一部 基調報告

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

第一部 解釈なぜ違うのか まじめに考えるべき

三谷博 東アジアは過去のあしき記憶にとられ、日本は周辺国家と仲直りできていない。一つの原因は政治家のリーダーシップの問題だ。東アジアでは90年代半ばから政治のトップリーダーが歴史を使って対立を呼び起している。そのため知識人は政治家から離れ、国境を超えて協力しようという動きが07年の教科書問題を契機に進んだ。対立する国民同士が歴史対話をするためには、異なる解釈がなぜ出ているのか、その差異をまじめに考えるべきです。

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

真実と権利回復の要求

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

自国中心だった研究 変わってきている

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

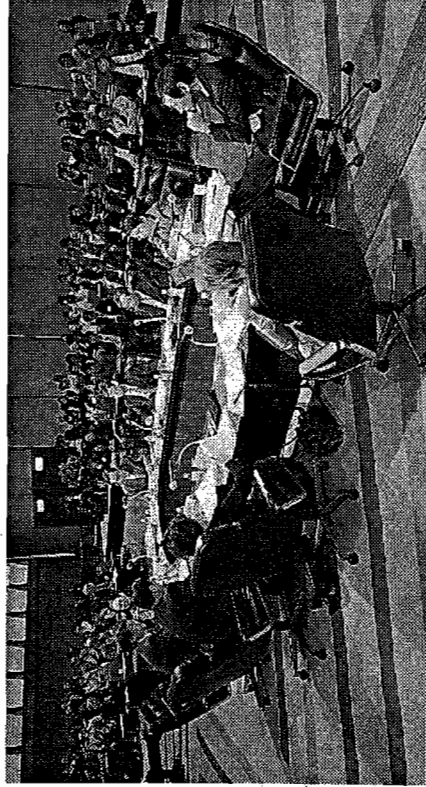
山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

我々はまた出発点 専門家の役割は大事

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)



山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

山室 過去をめぐる国家間の対立は消えることがない。ナショナルリズムの奔流を抑え、ともに生きていくために、いま私たちにできることは何か。朝日新聞社は4月19日、「歴史と向き合う」「歴史は生きている 東アジアの150年」の二つのシリーズを締めくくめるシンポジウムを東京都内で開き、「歴史和解のために」をテーマに内外の研究者9人が現状認識や提言を語り合った。(司会は外岡秀俊編集委員)

5月13・20日合併号 ★本日発売 ★特別定価380円(税込) ★光文社

女性自身

GM超特大合併号

3月で連載を終えた「歴史は生きている 東アジアの150年」は、朝日新聞出版から刊行されます。前身のシリーズだった「歴史と向き合う」は、朝日新聞の「戦争責任と追悼 歴史の向き合う1」。「過去を克つ」と愛国心 歴史と向き合う」として発売中です。

GWの私自身 夢も、幸せも、よくばってみる。

全国イクメン対決

初夏のお取り寄せ

08上半期 読者満足度 100%

小島よしお 新番組「Tジャン」

草野剛 渡辺謙 D.A.I.G.O. 坂井泉水 etc.

有名人が581Gはめくらくプレゼン

携帯&PC子エック! http://fsh.jp

東神

2人の母へ

成績優秀ス

何が起きているのか

過去をめぐる国家間の対峙も生じていくために、「歴史と向き合う」日々を締めくくるとシンポジウム、内外の研究者9人が現状認識



シモーネ・シットヒ氏
独オオルク・エックハート国際教科書研究所長。独仏共通歴史教科書を推進した。

第2部・基調報告

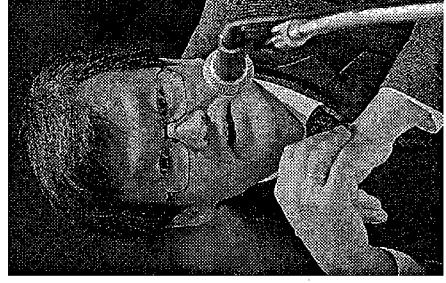
独仏教科書半世紀かけ

ドイツとフランスの共通の歴史教科書は、第1巻が2006年秋に刊行されて以来、国単位だけの歴史解釈を解消した象徴となってきました。教科書の誕生までを振り返ると、第2次世界大戦後の早い段階からドイツ側では歴史学者のゲオルク・エックハートが英国占領軍の協力を得て、旧敵国との間で教科書対話を組織、1951年には教科書での独仏史の扱いについて共

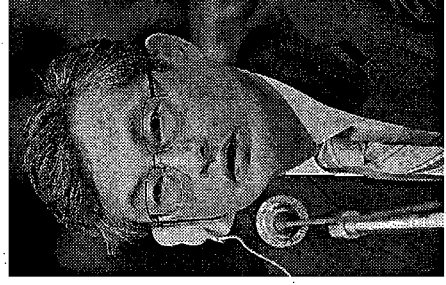
同提言が発表されました。67年までは定期的に、80年以降は非定期的に教科書会議が開かれました。同じ西側陣営という戦後の世界情勢も追い風になり、教育者や研究者が先頭に立った活動は、教科書委員会への道を開きました。ドイツは、ポーランドとの教科書委員会プロジェクトを進めています。西側陣営にはドイツ占領下の残虐な犯罪や追放の恐怖などの問題



君島 和彦氏
東京大学大教授。鄭在貞氏らと日韓歴史共通教材を出版。



鄭在貞氏
ソウル市立大教授。日韓の歴史共同研究や民間交流の中心的存在。



三谷 博氏
東大教授。「国境を越える歴史認識 日中対話の試み」を日中で同時出版。

第1部

解釈なぜ違うのか まじめに考えるべき

三谷博 東アジアは過去のあしき記憶にさらわれ、日本は周辺国家と仲直りできていない。一つの原因は政治家のリーダーシップの問題だ。東アジアでは90年代半ばから政治のトップリーダーが歴史を使って対立を呼び起こしている。そのため知識人は政治家から離れ、国境を超えて協力しようという動きが01年の教科書問題を契機に進化した。対立する国民同士が歴史対話をするためには、異なる解釈が浮き出してくるか、その差異をまじめに考えるべきです。

君島和彦 歴史認識を共有する方法があるとするれば、一つが歴史叙述の試みです。互いの研究成果をつきあわせ、討論しながら叙述を試みるのは困難なことではある。教科書制度のある国同士では共通教科書作りは最初から難しいが、私たちが日韓歴史共通教材「キーワード」を作ったように、民間人による共通教材作りがいくつも試みられ、議論を重ね高度なものを作っていく。そうした作業を繰り返すべきだろう。周婉茹 グローバル化は同質化を導く



司会 編 集 委 員 会 の 外 岡 秀 俊

外岡秀俊 基調報告を受け皆さんから。

社会の弱者が同質化されるのは一種の暴力で、具体例は台湾、チベットです。台湾は国民党独裁時代に本土の歴史文化がほぼ失われ、いま回復作業に取りかかっている。鄭在貞 歴史認識の共有とは未来の共生共存を旨とする意識的な作業だという自覚が必要です。韓国では東アジア歴史財団を作り、日本、中国などと積極的に歴史対話を進めている。日中などの共通歴史教材も五つほど出ている。

自国中心だった研究 変わってきている

歩平 中国では80年代半ば以降、歴史をめぐって変化が起きました。まず改革・開放政策で戦争史料の公開や記念館の建設がツェツェが起き、研究面でも強制連行や従軍慰安婦問題などの調査が始まった。歴史認識の共有については、自国中心で外国の史料や研究の現状把握が不十分だった状況が次第に変わってきている。中国、韓国の歴史研究では、日本の戦争責任を認めない人に対し攻撃的な傾向がある。このため歴史

日韓歴史共通教材 07年3月、日韓の歴史学者や教師らから10年をかけて完成させた「日韓交流の歴史」が現行教材に代わった。今回のシンポジウムに参加した君島和彦、鄭在貞、一で、国家と民族を超えた歴史認識の共有を目標に、日韓歴史教材となるよう編んだ。日本では、明石書店から出版されている。

認識の共有や歴史和解はあり得ないという考えの人も多いが、努力は重要です。朴裕河 世界中でユネリスムが90年代以降に強くなった背景には、グローバル化があるとよく言われる。韓国でも格差社会が問題になっています。格差社会を拡大しているのがグローバル化であるのに、その構造をユネリスムが見えなくしてしまっている。

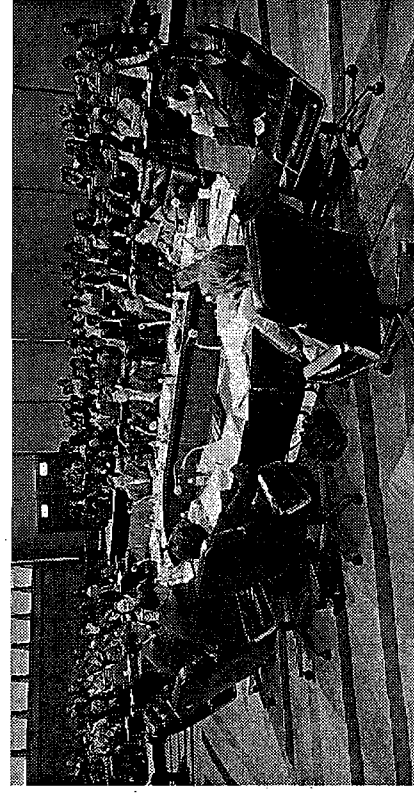
シモーネ・シットヒ いまだヨーロッパ内でも様々な歴史問題が起きています。共通の歴史教科書作りの議論されているが、現実的な目標は共通の歴史認識を作ることにある。そのためには一人ひとりが自分たちの歴史とは何なのか、相手の歴史がどうか、相手の理解はどうかということを意識的に理解していかなければなりません。

我々はまた出発点 専門家の役割は大事

北岡伸一 冷戦後に歴史問題が噴出したのは東アジアに顕著な問題で、戦後すぐに直面すべき問題が東アジア型の冷戦の仕組みに封じ込められていた。独仏の和解は、ロシアという共通の脅威があったため終戦直後から始まった。それと比べ、我々は出発点に立っている過ぎない。

強調したいのは専門家の役割だ。歴史和解への取り組みは、専門家にとって楽しい仕事でもなければ、成果が生まれるかどうかもわからないことです。しかし、向き合っていく責任がある。専門に閉じこもらずグローバルな視野を持ち社会的責任を感じる専門家の存在が大事だと思う。

円卓を囲んで話し合うパネリストを、約200人の研究者や学生が囲んだ。東京・有楽町の東京国際フォーラム



3月で連載を終えた「歴史は生きている 東アジアの150年」は、朝日新聞出版から刊行されます。前身のシリーズだった「歴史と向き合う」は、朝日選書の「戦争責任と追悼」と向き合う1」「過去の克服2」として発売中です。

が横たわり、政治体制の違いもありましたが、ドイツの緊張緩和政策で72年に教科書委員会が発足、76年に教科書勧告を共同発表しました。勧告は激しい論争を巻き起こしますが、結局それは両国の歴史への関心を引き起こしました。国際理解が進んだのは、両国ともに政治のトップレベルにその意志があったからです。同時に、後押しされた委員会が何年にもわたり、ほぼ自主独立で作業を進め、専門学術的な議論をしたことが、政治、世論に届いたのです。新しい歴史教科書の目的は、自国への忠誠を求めるものではなく、普遍的価値つまり自国の歴史を批判的に考えることができる能動的な国民を教育することです。できあがったばかりの独仏共通教科書第1巻は、生徒には異なる歴史的言ひの信頼性を検討し、その合理性を議論するチャンスが与えられています。相違点こそが疑問と思考を促し、他者への共感を育む助けになります。これは、移民社会に生きる私たちには非常に重要です。そこで問われるのは、2国間の教科書が他国の国境や出自の若者にとりまで語りかけ得るのか、執筆者たちが自標としているヨーロッパ次元の歴史教科書の準備にどの程度なっているのかということです。2国間プロジェクトは、隣人同士の和解と理解への長い、ときに苦難を伴うプロセスで要石の役割を果たします。プロセスには、政治、経済、学問、国家、市民社会といった多くの側面があります。真の意味で対立をはらむ状況であれば、支障はあるかもしれませんが、プロジェクトは実現できます。しかし、政治や国家に意思が欠けることでは、そうした教科書は考えられません。市民社会が国家と政治の代わりに務めることはできないのです。

5月13・20日合併号 ★本日発売 ★特別定価380円(税込) ★光文社

あしはるCMV
カインネちゃん
お見合い相手誌上募集
名越康文さん(ごめんオアスミはHEROES!)
海外ドラマDVDで泣く!

あしはるCMV
女性自身
1993年創刊
GM超特大合併号
大感謝
大発表

あしはるCMV
江原啓
深雅子(まこと)
き音(ね)関(せき)愛(あい)
厚労省08年度産業振興

あしはるCMV
私に元気になる
あしはるCMV

あしはるCMV
小島よしお
草野剛、塚本晋也、三浦雄一郎
有名人からBIGな情報

あしはるCMV
全国のお母さん
08上半期読者満足度
読者満足度
NEWS

あしはるCMV
GWの私自身
夢も、幸せも、よくばってみる。
GW

